

2024年IGF第2回MAGリモート会議

2024年1月16日（火） 22:00-23:35 JST

議事概要

1. 議事承認、MAG議長・IGF2024ホスト国代表挨拶

2. 事務局からの報告

- 1) IGF2023の報告書が刷り上がり、国連のニューヨーク・ジュネーブ本部やその他の関係部署に配布済。――
- 2) NRIに対して、補助金（grant）申請募集を開始、1/27まで
- 3) MAGメンバーに対する対面会合出席のための旅費サポート申請は締切済
- 4) IGF2024のテーマについての意見募集中、1/31まで
- 5) IGF2024（サウジアラビア・リヤド）の日程は、Day 0も含めて実施することを検討した結果、**2024年12月15-19日**に開催することとなった。
- 6) 第1回MAG対面会合関連のスケジュールは下記の通り
 - 2月25-26日 Leadership Panel会合
 - 27日 第1回Open Consultation
 - 28-29日 第1回MAG対面会合

3. Leadership Panelからの活動報告

Leadership Panelの議長であるVint Cerf氏より、今後のインターネットのあるべき姿のビジョンとフレームワークとしての“Internet We Want (IWW)”について、5つのトピック

- Whole and open
- Universal and inclusive
- Free-flowing and trustworthy
- safe and secure
- Rights-respecting

から、何が課題か、まずは一般から広く意見募集をする、という[レターが公表された](#)。また、2024年のLPの活動予定として、IGF以外のインターネットガバナンスに関わるフォーラムであるNET

mundial+10（2024年4月）やSummit of the Future（2024年9月）での議論もウォッチしたうえで、IWWのビジョンとフレームワークを固めていく[予定](#)とのこと。

今後のタイムラインは以下の通り：

- 1st Consultation（～3/1）
- 1st Consultationへの意見のレビュー、サマリー作成（～4月中旬）
- 上記5つのトピックごとのワーキンググループを作って目標を設定（5月中旬から開始、評価は10/1まで）
- 5月のNETmundial+10で、IWWプロセスについてプレゼンテーション
- WSIS 2024（5月末）で、IWWプロセスについてプレゼンテーション
- Summit of the Future（9月）で、IWWプロセスについてプレゼンテーション
- IGF2024（12月）で、MAGで承認されたIWWのドラフトを発表

現在、LPには、MAG議長のCarol Roach氏（バハマ、政府）と、IGF 2024ホスト代表のAbdulrahman Almutairi氏（サウジアラビア、政府）がMAGを代表して参加し、MAGメンバーに逐次報告することとしているが、他にも参加したい人がいたらオブザーバーで参加してもらってもいいとのことだった。

4. MAG Working Groupについて

下記の3つのWorking Groupの提案が出され、各WGへのMAGメンバーの関心や参加希望についてのアンケートが行われた。

1) WG on IGF Strengthening and Strategy

IGFの成果をグローバルな政策に反映するための戦略的な検討を行う。（前年より継続）

2) WG on WorkShop Process

MAGが毎年行う、提案されたWorkShopの評価と選抜についての基準などを検討する。（前年より継続）

3) WG on Multilingual

IGFやMAGの会合や関係資料はすべて英語のみであり、もっと活動を広く多くの人に知ってもらうため、英語以外の国連の6言語についても翻訳等をすることを検討してはどうか。（中国人の新MAGメンバーからの提案）

5. Policy NetworkとBest Practice Forumを一緒にしてはどうか、という案について

参加している人や、テーマが一緒であっても、「この二つの基本的な目的は違うので、一緒にすべきではないのではない」、「実際に活動をしている人たちの意見も聞かずに、MAGで勝手に決めるべきではない」、「事務局のリソースは限られている」、「可能な範囲で一緒に活動すれば、両者にとって違う意見や側面も見えることもあり得る」などという意見があり、もう少し議論が必要ということになった。

6. 2024年のIntersessional Workのセレクションプロセスについて

2024年のIntersessional Work (BPFとPN) のセレクションプロセスについて、提案の出し方、提案提出期間 (2/5-16) 、その後MAGリモート会合で承認し、4月1日から活動を開始する、というプロセスとタイムラインが事務局から説明された。

7. PNAIからUN High-Level Advisory Board on AI (HLAB) へのレターの送付について

PNAIが2023年の活動のまとめを作成しており、その成果に関するレターをUN HLABに送るべきかどうかについて議論が行われ、結論として、送ることとなった。また、2024年のインターセッショナルワークとしてのPNAIは、本来のインターセッショナルワークの承認スケジュールに先んじて、MAGで承認することとなった。

8. その他

次回リモート会合は、テーマに関する意見募集が1月末までなので、その約1週間後の2月6日かどうか。⇒特に反対はなかった。

以上